にいがたＳＴＯＰ高血圧プロジェクト

達成目標

➢ 循環器病（脳卒中、心疾患）による死亡者数の減少　※新潟県循環器病対策推進計画

サブ目標：2030 年までに 35～64 歳の収縮期血圧平均４mmHg 減少　※協会けんぽ新潟支部第３期データヘルス計画

背景

○高血圧は循環器病（心筋梗塞・心不全、脳卒中等）のリスクを著しく高める

・新潟県における死亡率（人口 10 万対）（令和５年人口動態統計（新潟県版））
　心疾患と脳血管疾患を合わせた循環器病：第２位（がんに次ぐ順位）

・都道府県別脳血管疾患による年齢調整死亡率（令和２年都道府県別年齢調整死亡率）
　男性　第６位（人口 10 万対 116.3　全国 93.8）
　女性　第９位（人口 10 万対　68.8　全国 56.4）

→新しい切り口での血圧対策「まずは血圧を測る」が必要

目標

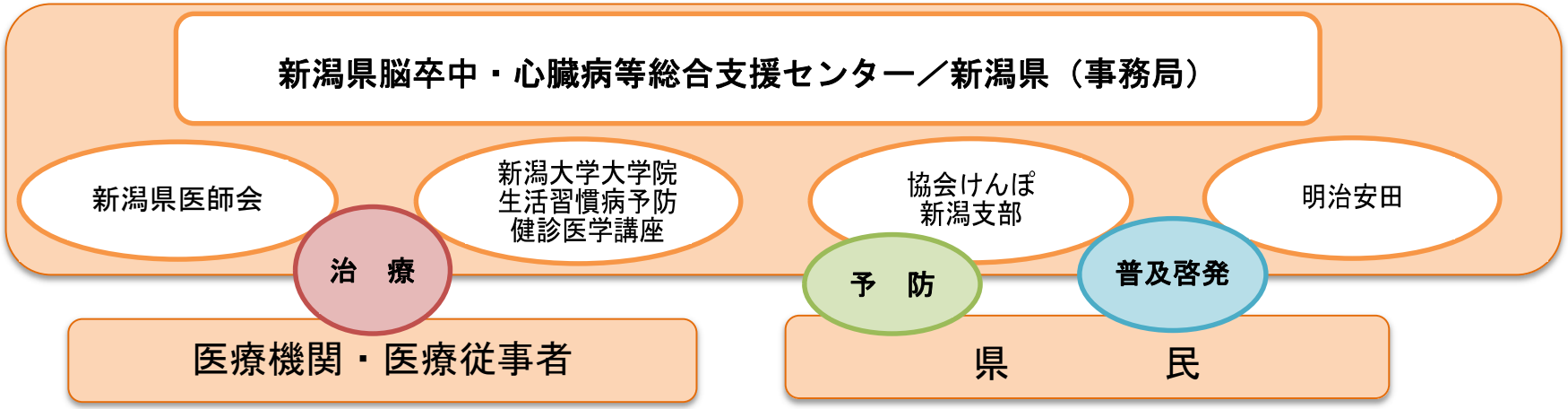
○循環器病を正しく理解する県民の増加

○早朝血圧測定を習慣にする人の増加
・高血圧の予防
・適切な治療に結び付けるための第一歩

○血圧計を設置、配置する企業の増加

イメージ

新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センターと新潟県が中心に、関係機関が治療・予防・普及啓発の各分野で取組を実施



主な取組

治療・予防・普及啓発の各分野にて参画団体がそれぞれの活動を連携しながら実施

治療

新潟大学・新潟県医師会

- 医療従事者を対象とした研修会
- 家庭血圧測定の実施　及び
  １か月、３か月後のフォローアップの徹底など

予防

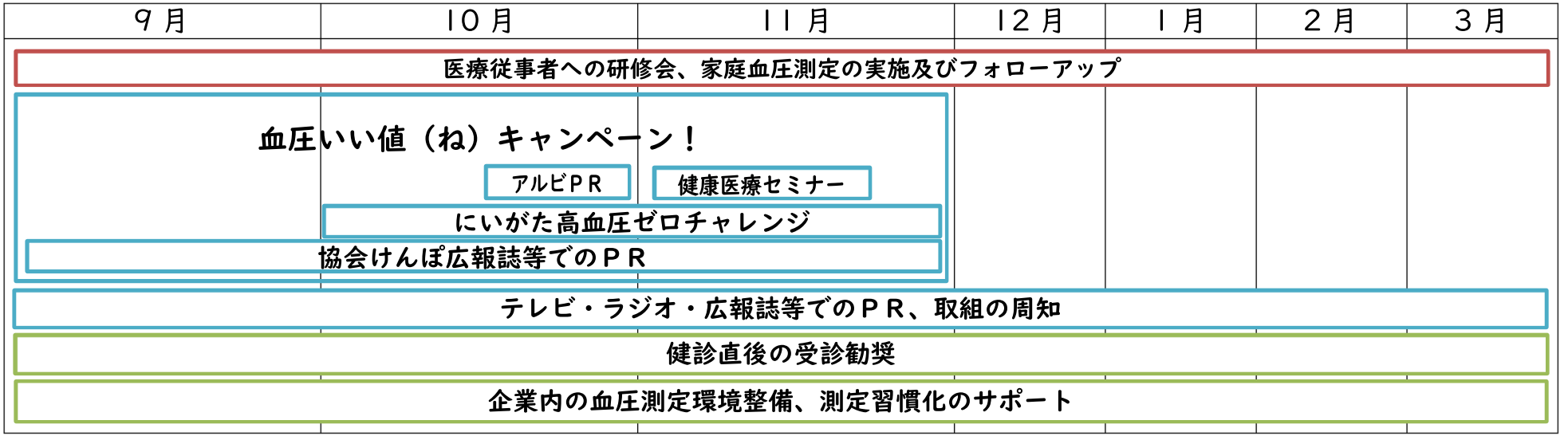
協会けんぽ・明治安田

- 健診後の受診勧奨
- 各企業内の血圧測定環境整備・測定習慣化のサポート

普及啓発

協会けんぽ・明治安田　ほか参画機関

「血圧いい値（ね）キャンペーン！」

- アルビレックス新潟ホームゲームでの PR
- にいがた高血圧ゼロチャレンジ
- 健康医療セミナー開催
- ＴＶ・ラジオ、協会けんぽ広報誌での PR
- 健康起因事故発生防止の取り組み
- 市町村や県内関係企業に向けた取組の周知

スケジュール